



第74回国民体育大会冬季大会

北国の雪と氷に刻む夢

イランカラテくしろさっぽろ国体

スケート競技会・アイスホッケー競技会 <<北海道釧路市開催>>



第74回大会 TEAM FUKUOKA NEWS

福岡県選手団サポートニュース H31.2.2 Vol.3

フィギュア成年男子4位！競技得点15点獲得！

成年男子のフリースケーティングが行われた。両選手とも次々と華麗なジャンプを決めるとともに、巧みなステップを披露し、前日のショートプログラムの得点と合わせ、中野選手が8位、山田選手が7位となり、少年女子と同じく4位入賞を果たした。

試合後2人は、「振り返ると細かなミスもあり、まだやれた気がする」とこの結果に満足できていない様子ではあったが、来年以降のさらなる飛躍を期待させるコメントであった。

少年女子に続く4位入賞は、本県選手団に勇気を与えてくれた。明日の成年女子、そして、ショートトラック選手団への大きな力となるはずである。



【山田選手】



【中野選手】



【山田選手（左）と中野選手】

フィギュア成年女子 優勝が見えてきた！

成年女子のショートプログラムが行われ、上地悠理花選手（福岡大学）が9位、竹野比奈選手（福岡大学）が2位につけた。竹野選手の演技は圧巻だった。ジャンプでのミスはあったものの表現力豊かな演技に加え、巧みなスケートティングにおいて技術点を伸ばした。

また、上地選手も実力通りの演技に満足気な表情であった。県スケート連盟の指導者方が「固くならずにリラックスしなさい」と、常に声をかけられていたことにより、上地選手の持ち味を十分に引き出されていたようであった。

フィギュアスケート選手団のまとまりの良さは定評がある。残念ながら入賞に届かなかった昨日の少年男子の分まで入賞を果たし、本県フィギュアスケートの底力を見せつけたい。団体は現在2位。明日のフリーで成年女子2人の演技に注目したい。



【上地選手】



【竹野選手】

HP「ふくおかスポネット」でもニュースレターを配信しております。ぜひご覧ください。

作成者：福岡県選手強化推進実行委員会事務局〔福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課〕

TEL：092-643-3924

